



湊川短期大学「クリスマス工作講座の開催」

令和4年12月15日(木)の「あいあい講座」(三田市地域子育て支援センターのプログラムで、短大教員が子育てに役立つお話や実践を行う講座)で、本学の安井良尚講師によるクリスマス工作講座が行われました。20名の子どもさんたちと保護者の方々が参加され「LEDライトを使った光るクリスマスツリー」を作りました。扇型の透明ファイルにセロファンを貼り付けたり、お絵描きをしたりして組み立て、LEDのキャンドルライトを入れて完成させました。難しい工程は保護者の方にもお手伝いいただいたのですが、子どもたちはとても集中して楽しそうに取り組んでくれました。工作が終わってからは、幼児教育保育学科の1年生がクリスマスの歌をみんなと一緒に歌って踊って楽しい時間を過ごしました。

短大は『地域のミナトガワ』として、地域の皆さんを応援しています。また、学生は実際に子どもや保護者と接することで、次の学修に繋がっていきます。



三田松聖高等学校

「防災教育講話『災害時の行動と自衛隊の活動について』を行いました」

令和4年12月19日(月)、全校生対象の防災講話を行いました。この日は、自衛隊兵庫地方本部・伊丹地域事務所より所長の原田修明様をお招きし、自衛隊の任務／大規模災害に対する自衛隊の備え／災害に対する訓練(原子力災害、米軍との協同、警察消防との連携、救急法の習得)／Jアラートの仕組み／大規模災害における自衛隊の活動(阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等の救援活動)等をお話いただきました。最後に「みなさんに望むこと」として、「災害を乗り越えるには、自助のための準備(自分のことはできるかぎり自分で)・共助の心(自分が持っている生きる力をほかの人に分け与えようとする心)が大切。これらは日々の暮らしのやさしさや思いやりから培われるので、家族や友達など周囲の人を大切に生活してください。」との力強いメッセージで締めくくられ、人と人のつながりの大切さを再認識した一日となりました。



湊川短期大学附属北摂中央幼稚園「お茶参観(年長組)」

3学期の最初の行事は、お茶参観でした。

年長組は、おうちの方と向かい合い、干支のウサギのお菓子とお抹茶をいただきました。日々のお稽古を通して「おさきに」「どうぞ」「ありがとう」などの挨拶が自然と言えるようになりました。また、お軸の絵やお花を見たり香りを嗅いだりと季節の移り変わりを感じる事もあります。

今回の抹茶碗は1学期に親子で作った抹茶碗を使っています。世界で一つだけの抹茶碗で点てたお茶はきつとおいしかったでしょう！

お茶指導の高山先生・お茶同好会の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

